## 平成14年度 杉並区政策評価表A(分野)

分野	名みる	どり環境分野			分野 番号	2				
分野 担当		竟清掃部			関連部	都市整備部				
分野の目標(分野戦略計	すべき役割担当部の果た						棄物の発生抑制、再利 (る政策を策定し、実施する			
	長期的目標	1 区民が空気のきれいな良好な環境の中で暮らせるようにする。 2 廃棄物が減量され、資源が循環して利用されるようにする。 3 区民が自然やみどりに身近に接することができるようにする。 4 区民が清潔で美しい生活環境の中で暮らせるようにする。 5 持続可能な地域社会をつくるため、区民、事業者、区が、あらゆる局面で環境に配慮した行動が自然にとれるようにする。								
画 )	当面の達成目標	1 窒素酸化物 (NO 2 区民や事業者の 3 平成24年度まで 4 公共施設の緑化 5 杉並区が美しい	ごみ排出量 (全にリサイクル率を でしましまでは加させ	:体量 )を、平 を43.0%にす tる。	成24年度まで <sup>·</sup> る。	で 13年度比 <sup>-</sup>	で10%削減する。			
分野を取り	現在の状況	で電波障害などが増加してのは、軒線道路沿いなどの人気環境では環境基準を達成していない項目がある。ごみ処理量は逓減の傾向にあるが、一層の減量化と資源化を進める必要がある。 また、公害関係法や都環境確保条例に基づき、区への権限委譲が進みつつある。国、都とも地球温								
巻く環境	の区 意民 見等	大気、騒音振動などの典型公害とともに、近隣公害の解決や環境美化を求める意見要望が多い。 また、カラス対策やごみの適正処理を求める声がある。								
		七冊々	単位	指	看 標 '	值	目 標 値			
杉の並	指標名		早1世	11年度	12年度	13年度	平成 年度末			
( 政区 策政	杉並区の大気の状況 (窒素酸化物の濃度)		ppm (区役所測定室)	0.039 0.038 0.042		平成 22年度 0.030				
策指標エ	区民 1人あたりのごみ排出量 (全体量 )		kg / 年	-	363.4	364.3	平成 24年度 10%減			
) のク	リサイクル率		%	16.2	18.7	18.5	平成24年度 43.0			
状ス-	公共施設の緑化面積						高ぐする			
7	公共心	設の緑化面積	$m^2$			(現在、調査中)	高くする			
		設の緑化面積が美はいと思う人の割合	m <sup>2</sup> %	-	-	(現在、調査中)	高くする 平成 22年度 60			
				- 11年度	- 12年度					
		が美いと思う人の割合	%	- 11年度	12年度	29.1	平成 2 <i>2</i> 年度 60			
分野		が美は1と思う人の割合 項目	% 単位	- 11年度	12年度	29.1	平成 2 <i>2</i> 年度 60			
分野コス	杉並区が	が美にいと思う人の割合 項目 事業費	% 単位 千円	- 11年度	12年度	29.1	平成 2 <i>2</i> 年度 60			
分野コスト	杉並区が	が美いと思う人の割合 項 目 事業費 (内)委託費	% 単位 千円 千円	- 11年度	12年度	29.1	平成 2 <i>2</i> 年度 60			
分野コスト	杉並区が	が美 にいと思う人の割合 項 目 事業費 (内 )委託費 数(正規   非常勤 )	% 単位 千円 千円 人 人	- 11年度	12年度	29.1	平成 2 <i>2</i> 年度 60			

口捶法代玄	指標1	指標2	指標3	指標4	指標5
目標達成率	71.4%				48.5%
指標の変化と 目標達成の状 況	ばいの状態で推移し 果が期待される。 2の 区民一人あた 現在の施策を、さら 4の 公共施設の約	」ている。区は天然ガ ニリごみ処理量 』は逓減 こ積極的に推進し頃	は、現在調査中である	成や低公害車への転イクル率」は実質的に	換を進めており効 透増の傾向にあり
総合評価					

## (1)今後の分野戦略計画の方向

現在、区環境基本計画及び一般廃棄物処理基本計画を改定中であるが、この間の環境の変化としては、地球温暖化の影響や有害化学物質による環境汚染などが一層明らかになってきたこと、ごみ問題に見られるように、大量生産、消費・廃棄という社会経済システムを転換する必要が一層大きくなってきたこと等があげられる。現在の環境問題は、主に、日常の生活や事業活動から生じる環境負荷が非常に大きくなったことに由来しており、区ひとりの力では及ばないこともあるが、区民・事業者の協力を得て、国や都とも連携してきる限りの施策を展開していく必要がある。

## (2)分野戦略計画を達成するための課題

(1)にあるようこ、現在の環境・清掃の問題を解決するには、区民・事業者・区が、それぞれ真に主体的に取り組んでいかなければ、解決が困難である。区は、できる限りの施策を展開しつつ、区民や事業者に情報を提供し、ともに考え、行動していく必要がある。

(3)重点政策

後の分野戦

略

のあり

でみの発生抑制及びリサイクルの推進」、環境配慮行動の推進」 (環境配慮行動の推進には、CO₂等の削減施策を含む。)

		分	野	を	構	成	す	る	政	策	
政策	重点	政策名		政策コスト総事業費 - 千円)					特記事項		
番号	政策			11年	度	12年月	度	13年月	度	机心事块	
3		うるおいのお つくるために	_								
4		環境に負荷 的な成長が	を与えな 可能なま	い持続 きちをつく	53	30,617	8,945	,103	9,270	,801	
分野	· 多合計										

## 平成14年度 杉並区政策評価表B(政策項目)

							水块口)			
政策	色	環境に負荷を与	えない持続的	]な成長が可能なまちる	政策 番号		4			
政 担	策 当部	環境清掃部				関係部	区民生活部	3		
		区民 事業者・区	☑が環境に酉	尼慮した行動ができ	るようにする。					
政策の目標(	政策目的									
(政策戦略計画 )	達成目標	・温室効果ガス(二酸化炭素換算)排出量について、京都議定書の達成を目指すため、地域省エネルギービジョンの作成及び達成を図る。 ・一人1日当りのごみの排出量の抑制のため、過剰包装の抑制や分別収集の徹底を働きかけるとともに、資源循環拠点を増やし、回収の増加を図る。								
政策を取り巻く	現在の	みの発生抑制が 等の化学物質が	が焦眉の急のきない。	対策に向けた自治体 D課題となっている。 は低下を見せていない 害防止条例を全面で	また、大気汚 ハ。国は循環	染は逓減傾 型社会を目	向を示しきれ 省した関係法	℩ず、ダイオキシ よ令や有害物質	ン類 対策	
巻く環境	の区	杉並区環境審議会における環境基本計画改定のあり方の答申で、地球環境への配慮・有害化学物質の減少・ごみの排出抑制と減量化に取組むよう 提言を受けた。まちのクリーン化に向けては、ごみ集積所のカラス対策の要望が多い。また、相隣関係の騒音・悪臭の苦情も多く寄せられている。								
境	見等				»χ∨μη c	多/引尼公	0 ( 0 1 %)			
境 	見等	項目	単位	11年度		12年		13年度	i i	
境	見等							13年度	<b>₹</b> 5,764,046	
政	見等	項目	単位				<b></b>	13年度		
政	見等	項目事業費	単位千円	11年度	350,516		<del>复</del> 5,459,882	13年度 363.05	5,764,046	
	見等	項目事業費(内)委託費職員数	単位 千円 千円	11年度	350,516	12年,	雙 5,459,882 193,326		5,764,046 775,851	
政策コス	(正共	項 目 事業費 (内) 委託費 職員数 規   非常勤) 人件費 事業費( + )	単位 千円 千円 人 人	11年度	350,516 14,233	12年,	雙 5,459,882 193,326 46		5,764,046 775,851 91	
政策コス	(正規総事)	項 目 事業費 (内) 委託費 職員数 規   非常勤) 人件費 事業費( + ) 財源   国・都から ウ支出金	学位 千円 千円 人 一 人 千円 千円	22	350,516 14,233 180,101	12年,	5,459,882 193,326 46 3,417,624		5,764,046 775,851 91 3,450,401	
政策コスト	(正規総事)	項目 事業費 (内)委託費 職員数規 非常勤) 人件費 事業費(+) 財源 J国・都から 支出金 二酸化炭 ごみ処理量にご	単位 千円 十円 十円 千円 千円 大円 千円 で素排出量を いいては、平	22	350,516 14,233 180,101 530,617	12年月 351.38 或少 した。 ペ	5,459,882 193,326 46 3,417,624 8,945,103 5,870	363.05	5,764,046 775,851 91 3,450,401 9,270,801 4,621	
政策コス	見 正総 (の) 目標の達成状況 コス	項 目 事業費 (内) 委託費 規   件費	単位 千円 人 千円 大 千円 大 千円 大 大 千円 大 大 千円 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	11年度 22 調査中である。 成13年度は前年度に のモデル事業を実施 のモデル事業を実施	350,516 14,233 180,101 530,617 こ比べ1.7% 施し、集積所の 把握のために 促進に機能し	12年月 351.38 ボクリーン化	き 5,459,882 193,326 46 3,417,624 8,945,103 5,870 ットボトレロい に努めている	363.05 収拠点を増やしる。	5,764,046 775,851 91 3,450,401 9,270,801 4,621 、リサイクル	

今後の政	今後の政策戦略 計画の方向	改定環境基本計画は、答申を受け区民・事業者・区が連携を図った環境配慮行動が欠かせないことを基調に策定中である。21世紀ビジョンの目指す環境先進都市の実現に向け、三者の、ことに区民・事業者の取り組みが不可欠で、ライフスタイルを見直し、行動できる支援策とともに、区の率先垂範行動がますます重要となる。
政策戦略計画のあり	政策戦略計画を 達成するための課題	現在の環境問題の解決には、区民・事業者が主体的に取組まなければ実現は困難である。 このため、区は可能な限り、区民・事業者が日常生活の中で自然に取組める施策を提起する ことが必要である。
方	重点施策	環境配慮行動の推進 / ごみの発生抑制及びリサイクルの推進
	費用対効果の 高い施策	環境配慮行動の推進
	見直U施策	

	政 策 を 構 成 す る 施 策									
施策番号	見直 し施 策	施策名	平成12年度 総事業費	平成13年度 総事業費	13年度 指標値	施策指標名				
16		環境施策の総合的推進	51,599	98,472						
17		ごみ発生抑制及びリサイクルの推 進	1,439,483	1,408,248		一人一日あた!3の排出ごみ量 !Jサイクル率				
18		環境配慮行動の推進	25,618	61,792		ISO14001取得区内企業数 レジ袋を辞退した人の割合 杉並区全体の温室効果ガスの発生量				
19		公害の防止	121,741		74 •75	大気質測定数値 自動車交通騒音レベル 公害 (6大 )苦情発生件数				
20		ごみ排出の適正化及び収集サー ビスの向上	7,306,662		14,539円	1 あたりのごみ処理費用 (収集 運搬) 1人あたりのごみ処理費用 (収集 運搬) ごみ集積所のカラス被害状況				